

- 1 シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水や養分を運ぶ管が束になったつくりを何という？
- 2 背骨を持ち、体温を一定に保つ性質を持つグループのうち、乳を分泌して子を育てるものを何という？
- 3 植物の根の表面にある、水や養分を効率よく吸収するための小さな突起を何という？
- 4 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
- 5 周囲の気温が変化しても、体内で熱を産生して体温を一定に保つことができる動物を何という？
- 6 一般的に、顕微鏡の倍率が高い対物レンズほど、レンズの形にはどのような特徴があるか？
- 7 節足動物などの体の表面を覆う、成長とともに脱皮を繰り返す必要がある硬い殻を何という？
- 8 胎生を行う動物において、親から栄養や酸素を子に受け渡すための特別な器官を何という？
- 9 被子植物において、受粉後に発達して種子となる植物の組織を何という？
- 10 体の中に棒状の骨格を持ち、それが体を支える中心となっている動物群を何という？
- 11 コケ植物が体を地面や岩に固定するために持つ、根のような働きをするつくりを何という？
- 12 松や杉、ヒノキのように、葉が細長く乾燥に強い形状をしている植物のグループを何という？
- 13 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？
- 14 爬虫類が体の乾燥を防ぐために全身を覆っている硬い構造を何という？
- 15 ニワトリやスズメ、ペンギンなどが属し、翼とくちばしを持つ脊椎動物のグループを何という？
- 16 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？
- 17 魚類などが水中で生活するために発達させた、気体交換を行う呼吸器官を何というか？
- 18 植物が発芽した時に最初に出る葉のことを何という？
- 19 花粉がめしべの先端部分に付着することを受粉というが、そのめしべの先端部分を何という？
- 20 顕微鏡の全体の倍率を求める際、対物レンズの倍率ともう一つ組み合わせて掛け合わせる、鏡筒の上の部分に取り付けられたレンズのことを何という？
- 21 受粉後、雌しべの中に伸びていき、精細胞を胚珠へ運ぶ通道のことを何という？
- 22 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>維管束</u> は、根から吸い上げた水や養分を運ぶ管の束です。		<u>維管束</u>	☐
2	<u>哺乳類</u> は、鳥類とともに恒温動物に分類される脊椎動物のグループです。		<u>哺乳類</u>	☐
3	<u>根毛</u> は、根の表皮細胞が管状に突き出したものです。		<u>根毛</u>	☐
4	植物の生殖において、おしべから出た花粉が同じ種類または同じ個体のめしべの先端（柱頭）に付着する現象を「 <u>受粉</u> 」といいます。		<u>受粉</u>	☐
5	食事で得たエネルギーを使って体内で熱を産生し、常に安定した体温を維持します。		<u>恒温動物</u>	☐
6	対物レンズは、倍率が高くなるほどレンズが大きくなり、鏡筒自体の長さも <u>長く</u> なるのが特徴です。		<u>長く</u>	☐
7	<u>外骨格</u> は、硬いキチン質などでできた体の外側を覆う殻です。		<u>外骨格</u>	☐
8	<u>胎盤</u> は、子宮内に形成され、母体と胎児をつなぐ器官です。		<u>胎盤</u>	☐
9	<u>胚珠</u> は、めしべの下部にある子房の中に守られています。		<u>胚珠</u>	☐
10	<u>脊椎動物</u> は、背骨（脊柱）という硬い構造を体の中心に持ち、これが運動や体を支える土台となります。		<u>脊椎動物</u>	☐
11	<u>仮根</u> は、コケ植物の体の下部から伸びる細い糸のような組織です。		<u>仮根</u>	☐
12	<u>針葉樹</u> は、その名の通り針のような葉を持つのが特徴です。		<u>針葉樹</u>	☐
13	<u>単子葉類</u> は、子葉が1枚であること以外にも、根がひげ状にたくさん生える「ひげ根」や、葉脈が平行な「平行脈」であるといった共通の特徴を持っています。		<u>単子葉類</u>	☐
14	爬虫類の体表を覆う「 <u>うろこ</u> 」は、水分が体外へ蒸発するのを防ぐ重要な役割を果たしています。		<u>うろこ</u>	☐
15			<u>鳥類</u>	☐
16	これは、観察する試料を載せる長方形の「 <u>スライドガラス</u> 」と、その上から被せる「カバーガラス」の2枚のガラス板で構成されます。		<u>スライドガラス</u>	☐
17	<u>えら</u> は魚類や一部の甲殻類、貝類が持つ呼吸器官です。		<u>えら</u>	☐
18	<u>子葉</u> は、光合成ができるようになるまでのエネルギー源を貯蔵している重要な器官です。		<u>子葉</u>	☐
19	<u>柱頭</u> はめしべの最も先端にある部分で、花粉を効率よく受け止める役割があります。		<u>柱頭</u>	☐
20	顕微鏡には、観察対象に近い側にある「対物レンズ」と、人間が覗き込む側にある「 <u>接眼レンズ</u> 」の2種類があります。		<u>接眼レンズ</u>	☐
21	柱頭についた花粉からは <u>花粉管</u> が伸び、めしべの中を通過して胚珠まで達します。		<u>花粉管</u>	☐
22	体が大きくなると古い殻を破って脱ぎ捨て、新しい柔らかい殻が固まるまでの間に体を急激に大きくします。		<u>脱皮</u>	☐

言えなかった用語ノート